

啓北、附属、緑が丘が6連勝を飾る！

U-14北海道・旭川地区リーグ兼第6回会長杯秋季リーグ

U-14北海道・旭川地区リーグ兼第6回会長杯秋季リーグは、終盤戦を迎えました。グループAでは啓北と附属がともに6連勝を飾り、10月14日の天王山に向けて一歩も引かない戦いを見せています。グループCでは緑が丘も6連勝。5勝1分けの広陵との直接対決に向け、順調に白星を伸ばしています。グループBでは六合と愛宕が1分け同士で得失点差での決着になりそうです。

第13節 9月29日(土)

第13節は増毛中学校と花咲球技場を会場に3試合が行われました。増毛中学校で行われたashur対増毛は高畑、松村がそれぞれ2得点したashurが6対1で増毛を破りました。花咲球技場の第1試合では緑が丘宮下が前半だけでダブルハットトリックの活躍をみせ、富良野東を一蹴しました。東神楽は中盤の厳しいプレスで主導権を握り、9分宮腰が先制点。23分には鳥毛のCKに東が頭で合わせて追加点を奪い北星を破りました。



緑が丘vs富良野東

増毛中学校

B ashur 6 - 1 (2 - 0) 増毛 高畑, 松村, 工藤, 島本 (a) 川井 (増)

花咲球技場

C 緑が丘 15 - 0 (9 - 0) 富良野東 宮下, 荒川翔, 豊田, 香西, 小野 (緑)

A 東神楽 2 - 0 (2 - 0) 北星 宮腰, 東 (東)

第14節 9月30日(日) 忠和中学校

第14節は忠和中学校で緑が丘対忠和の1試合だけが行われました。序盤から緑が丘が佐藤力、永井により中盤を制します。忠和は自陣に引いて山根を起点にカウンターを狙います。試合巧者の緑が丘はシュート数こそ少ないものの、数少ないチャンスを2トップがしっかりと決めます。9分の宮下に続いて28分には荒川翔が追加点。後半交替出場の豊田が決めて3対0としました。忠和も59分エースの山根が決めて一矢を報いました。

C 緑が丘 3 - 1 (2 - 0) 忠和 宮下, 荒川翔, 豊田 (緑) 山根 (忠)

第15節 10月6日(土)

第15節は花咲球技場と愛宕中学校を会場に7試合が行われました。花咲球技場の第1試合は神楽と明星が対戦。序盤から神楽は首藤を中心に攻撃しますが、明星もGK黒田の攻守に阻まれ前半は0対0で終了します。後半も押し気味に試合を進める神楽は、38分谷口のセンタリング気味のシュートがゴールインし決勝点をあげ、貴重な白星をあげました。第2試合は啓北が東神楽と対戦。山内を起点に右サイドの酒井のクロスから攻撃をしかける啓北は9分に笠原が先制。22分には酒井の矢のようなクロスに藤原が見事なヘッドで突き刺し2点目を奪います。その後も笠原、西根が加点した啓北が5対0で勝ちました。第3試合は北星の粘りに附属が苦戦します。序盤は中盤で激しいプレッシャーをかける北星のペース。本田を中心に果敢に攻撃をしかけ附属ゴールを脅かします。本田の中盤からの飛び出しをつかまえない附属はGK岡泉の前への積極的な飛び出しで何とか食い止めます。後半は坂本を中心とした附属が持ち直します。阿部、赤坂を中心に固い守備を見せていた北星ですが、58分楠がDFとGKの間に絶妙のパスを落とすと、石ヶ森が体だけ押し込んで決勝点をあげました。



北星vs附属

石ヶ森が体だけ押し込んで決勝点をあげました。

愛宕中学校の第1試合では愛宕と中富良野が対戦。開始早々から終始愛宕が優勢に試合を進めます。6分に先制点をあげた越智は、16分、27分、53分にも加点。越智のスピードあるドリブルから崩した愛宕が快勝しました。第3試合は永山と忠和が対戦。前半は永山がボールを支配しますが、忠和もカウンターからの攻撃で対抗し山根が決定的なチャンスを作ります。また、GK白井も攻守を見せ永山に得点を許しません。しかし永山は48分右CKを佐藤が豪快なヘッドで合わせて先制します。59分には志摩がだめ押しの得点をあげ2対0で勝利を収めました。

花咲球技場

C 神楽 1 - 0 (0 - 0) 明星 谷口 (神)

A 啓北 5 - 0 (3 - 0) 東神楽 笠原, 藤原, 西根 (啓)

A 附属 1 - 0 (0 - 0) 北星 石ヶ森 (附)

A 北都 1 - 0 (0 - 0) 北門 長堀 (都) [警] 大沼 (都)

愛宕中学校

B 愛宕 5 - 0 (3 - 0) 中富良野 越智, 多田 (愛)

C 広陵 5 - 0 (2 - 0) 富良野東 田中, 松岡, 吉田, 伊藤大, 松田 (広)

C 永山 2 - 0 (0 - 0) 忠和 佐藤, 志摩 (永)

第16節 10月7日(日)

第16節は啓北中学校など3会場で行われました。啓北会場の第1試合は東明と六合が対戦。立ち上がりは一進一退でしたが、徐々に六合がペースをつかみます。17分熊谷のセンタリングに杉森が合わせて先制点を奪うと、渡辺、柳原を中心にその後も着実に加点。杉森のハットトリックの活躍などで6対0で快勝しました。第2試合の北星と啓北の対戦は、両チームともいい勝負にサッカーで相手に隙をねらいますが、互いに崩しきれません。徐々に啓北がチャンスを多く作り始めますが、GK村内の攻守に阻まれます。20分啓北はDFクリアを拾った山内がミドルシュートを突き刺し先制します。後半もサイドからクロスボールを入れる啓北ですが、赤塚、阿部のCBに跳ね返されます。しかし、59分左サイドの山内の突破から西根がゴール前でブッシュしてだめ押しの2点目を奪いました。第3試合は中富良野が斉藤、留萌が中土井を中心としたカウンターの応酬となります。14分、56分と2度に渡って斉藤がリードを奪うゴールをあげましたが、留萌は16分藤井、57分中土井と取られた後にすぐ取り返しドローに持ち込みました。第4試合の春光台と神楽の試合は、首藤を起点に神楽が押し気味に進めますが、春光台も粘ります。春光台GK山崎の攻守もありなかなか得点を奪えなかった神楽ですが、54分首藤が直接FKを決め決勝点をあげました。



東明vs六合

富原運動公園での上富良野対富良野東は、富良野東が激しいプレッシャーで主導権を握ります。しかし、先制点は上富良野があげます。7分高木が中央からゴール左に流し込みます。そこから徐々に上富良野がペースをつかみ、22分には右サイドを中田がドリブル突破し中央に入れると畑中がダイレクトで合わせて2点目を奪います。後半にも2点をあげた畑中のハットトリックの活躍などで上富良野が快勝しました。

永山南会場の第2試合では北門と東神楽が対戦。前半から北門が押し気味に試合を進めますが、なかなか東神楽ゴールを割れません。23分鈴木があげた1点が決勝点となり北門が勝ちました。第3試合は広陵と明星が対戦。ここまで連勝を続けていた広陵ですが、この日は明星に手こずります。明星GK黒田の攻守に手を焼いた広陵は松岡のシュートもポストをたたきスコアレスドローに終わりました。

啓北中学校

C 六合 6 - 0 (3 - 0) 東明 杉森, 熊谷, 柳原, 渡辺 (六)

A 啓北 2 - 0 (1 - 0) 北星 山内, 西根 (啓)

B 中富良野 2 - 2 (1 - 1) 留萌 斉藤 (中) 藤井, 中土井 (留)

C 神楽 1 - 0 (0 - 0) 春光台 首藤 (神) [警] 小野 (神)

上富良野富原運動公園

C 上富良野 4 - 0 (2 - 0) 富良野東 高木, 畑中 (上)

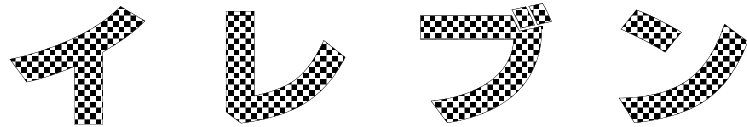
永山南中学校

A 永山南 5 - 0 (3 - 0) 東陽 片山, 高橋佑, 中村, 山本 (永)

A 北門 1 - 0 (1 - 0) 東神楽 鈴木 (北)

B 愛宕 8 - 2 (5 - 0) 富良野西 越智, 大橋 (愛) 高橋, 西原 (富)

B 広陵 0 - 0 (0 - 0) 明星



D1に啓北、附属、六合、愛宕、緑が丘、広陵が決定。

U-14北海道・旭川地区リーグ兼第6回会長杯秋季リーグ

大詰めを迎えたU-14北海道・旭川地区リーグ兼第6回会長杯秋季リーグは、10月8日に第17節、10月13日に第18節を迎えました。各グループの順位もおおよそ決定しています。すでに最終節を待たずに各グループとも2位までが決定し、来春のディヴィジョン1所属チームがAでは啓北と附属が、Bでは六合、愛宕、Cでは緑が丘、広陵となっています。最終節では啓北と附属、緑が丘と広陵が直接対決し、準決勝進出を争います。また、Bでは、六合が勝利すれば、Wild Cardで進出を決めている愛宕と共にベスト4に名乗り出ます。

第17節 10月8日(月)

第17節は東明中学校、啓北中学校を会場に8試合が行われました。東明中学校の第1試合では3位を争うashurと東明が対戦。開始直後から一進一退の試合が続きましたが、徐々にashurがペースを握り始めます。そして28分に高畑が先制点を決めると、43分にも追加点をあげ2対0で貴重な白星をあげました。第2試合は附属と永山南が対戦。前半は1対1で折り返しましたが、後半附属の攻撃がリズムをつかみます。楠の2得点などで附属が5対2で勝ちました。

啓北中学校では、ピッチの半分以上が水たまりという悪コンディションの中での試合となりました。北門と啓北は前半互いに決め手を欠き0対0で折り返します。後半風上になった啓北がペースをつかみます。37分笠原が倒されて得たPKを高橋竣が落ち着いて決めて先制します。42分には酒井のセンターリングのこぼれ球を藤原が拾い、力強い反転からゴール右に蹴りこみました。その後は鈴木のカウンターから攻撃をねらう北門攻撃陣を高橋竣、茂木のCBが対処し7連勝を飾りました。第2試合は緑が丘への挑戦権を得る重要な試合となりました。前半風上の広陵ペースで試合は進みます。14分にはDFラインを巧く抜け出した吉田が左サイドネットに落ち着いて決めて先制します。その後も広陵は田中、松岡を中心に攻撃をしかけます。20分過ぎから神楽も、首藤を軸にFKやCKからのチャンスを得ますが得点できません。後半神楽はGKと1対1となるチャンスを得ますが、GKを破ったシュートは無情にも水たまりでストップ。深川、大野のCBが神楽の攻撃を押さえ1対0で勝利しました。



永山vs上富良野

東明中学校

- B ashur 2 - 0 (1 - 0) 東明 高畑 (a)
- A 附属 5 - 1 (1 - 1) 永山南 奥村, 楠, 石ヶ森, 大塚 (附) 松元 (永)
- A 東神楽 4 - 0 (2 - 0) 東陽 東, 宮腰 (東)
- C 明星 3 - 0 (0 - 0) 富良野 東 久保, 大平 (明)

啓北中学校

- A 啓北 2 - 0 (0 - 0) 北門 高橋竣, 藤原 (啓)
- C 広陵 1 - 0 (1 - 0) 神楽 吉田 (広) [警] 高橋, 大沼 (広) 田畑 (神)
- C 永山 4 - 0 (1 - 0) 上富良野 0・G, 志摩, 野田 (永)

第18節 10月13日(土)

いよいよ大詰めを迎えた第18節は、花咲球技場など3会場で12試合が行われました。花咲球技場の第1試合は緑が丘と神楽が対戦。敗れば後がない神楽はFW小澤のポストプレーから活路を見いだそうとしますが、試合巧者の緑が丘はチャンスを実にものにします。28分DFラインのウラへ飛び出した宮下が先制点をあげます。その後は神楽もふんばりましたが、55分DFをかわして荒川翔が2点目をあげると、ロスタイムには宮下がCKからヘッドでだめ押しの3点目。2トップの活躍で緑が丘が予想以上の大差で勝利しました。第2試合は啓北と永山南が対戦。山内、保田で中盤をつくる啓北は右サイドの藤村、酒

井を中心に攻撃をしかけます。13分酒井のクロスから山内が先制点をあげると、23分、25分には山内のアシストから藤原が2得点。後半には酒井、茂木のパスから山内がハットトリックを完成し、永山南に圧勝しました。第3試合、第4試合では北星、東光が本田、宮口の活躍でそれぞれ6対0の大勝。最終節の直接対決に雌雄を決することになりそうです。

広陵中学校での第1試合では広陵と忠和が対戦。一進一退の緊迫した攻防の中、13分齊藤が見事なループシュートを決め広陵が先制します。後半は広陵がペースを握り、数多くのチャンスを作ります。そして37分、再び齊藤が今度はミドルシュートを決め点差を広げました。忠和も50分過ぎからペースをつかみますが得点をあげることができず。2対0で広陵が勝ちました。第2試合では富良野西と神居が対戦。22分富良野西はCKから西原が押し込んで先制します。神居も27分PKを宮崎が決めて一度は同点に追いつきます。しかし終了間際の56分ゴール前へのクロスに山崎が合わせて再度リードを奪うと、ロスタイムには熊谷がドリブル突破からだめ押しのゴールを決め3対1で勝利を収めました。第3試合では六合が柳原の7得点などで増毛に大勝。得失点差の争いとなりそうなグループBでアドバンテージを握ることができた試合でした。

聖園中学校での第1試合では愛宕とashurが対戦しました。前半は互いにGKと1対1となる決定的な場面を生かす切れず0対0で終わりました。後半に入り37分愛宕は芝山が先制点を決めます。対するashurも45分宮本が同点ゴールを決めます。しかし、49分、59分と愛宕はエースの越智が2得点し、粘るashurを突き放しました。第3試合では上位を争う附属と北門が対戦しました。序盤は附属のペースで始まります。北門は中西、鈴木を起点にカウンターを試みます。3分北門は中西がFKを決めて先制。附属も20分奥村がミドルシュートを決め同点に追いつきます。後半も附属がいい形で攻めますが、40分北門はPKを得、中西がきっちり決めてリードを奪います。粘る附属も53分、石ヶ森が相手DFを切り返して同点シュートを放ちます。試合はこのまま終了。互いに勝ち点1を取り合った試合となりました。グループBの参入戦進出をねらう中富良野と東明は第4試合で対戦。2分、27分と中富良野は松田、齊藤がゴールを決めます。東明は森がDFのウラへのスルーパスに反応し、同じような形から2度の同点ゴールを決めます。しかし、中富良野は40分、DFラインのウラに飛び出した齊藤が落ちていたファーストタッチを見せ、決勝点をあげ大きな勝ち点3を獲得しました。



北星vs東陽



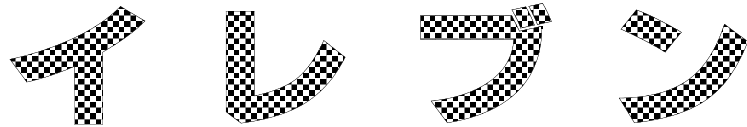
緑が丘vs神楽

花咲球技場

- C 緑が丘 3 - 0 (1 - 0) 神楽 宮下, 荒川翔 (緑)
- A 啓北 5 - 0 (3 - 0) 永山南 山内, 藤原 (啓)
- A 北星 6 - 0 (0 - 0) 東陽 本田, 村上 (北)
- A 東光 6 - 0 (4 - 0) 北都 石川, 加賀美, 宮口 (東)
- [警] 佐々木, 長堀 (北)

広陵中学校

- C 広陵 2 - 0 (1 - 0) 忠和 齊藤 (広)
 - B 富良野西 3 - 1 (1 - 1) 神居 西原, 山崎, 熊谷 (富) 宮崎 (神)
 - B 六合 15 - 0 (10 - 0) 増毛 柳原, 熊谷, 杉森, 吉田, 渡辺, 永井 (六)
 - A 東神楽 7 - 1 (1 - 1) 美瑛 宮腰, 杉原, 東 (東) 金刺 (美)
- #### 聖園中学校
- B 愛宕 3 - 1 (0 - 0) ashur 芝山, 越智 (愛) 宮本 (a)
 - C 春光台 4 - 1 (2 - 0) 富良野 東 小野, 深沢, 渡辺 (春) 山本 (富)
 - A 附属 2 - 2 (1 - 1) 北門 奥村, 石ヶ森 (附) 中西 (北)
 - B 中富良野 3 - 2 (2 - 1) 東明 松田, 齊藤 (中) 森 (東)



準決勝に啓北、六合、愛宕、緑が丘が進出！ U-14北海道・旭川地区リーグ兼第6回会長杯秋季リーグ

U-14北海道・旭川地区リーグ兼第6回会長杯秋季リーグは、10月14日最終節を迎えました。グループAでは啓北が附属を1対0で破り、Bでは六合が勝利を収め準決勝に進出しました。Cでは、緑が丘が広陵とスコアレスドローに終わりましたが、勝ち点で上回りベスト4に進出です。Wild Cardの愛宕も含めて、20日に花咲球技場で準決勝が行われます。また、各グループの3、4位も決定し、ディヴィジョン1参入戦の顔ぶれも決まりました。

最終節（第19節） 10月14日（日）

最終節は永山中学校など3会場で11試合が行われました。永山中学校の第1試合は、永山と明星が対戦しました。勝ったチームが参入戦の権利を得るこの試合、立ち上がりは互角。ぬかるんだグラウンドに対し、シンプルに縦へとボールを入れる永山が徐々にスピードアップ、シュートまで持ち込む展開が増えます。23分ペナルティエリアで相手GKをかわした佐藤が無人のゴールに流し込み永山が先制します。さらに3分後には右サイドから入ったボールを志摩が蹴りこんで2対0で前半が終わりです。後半は永山が攻め込むものの得点を奪うことができず、試合はこのまま終了。永山は結局4位でD1参入戦への出場権を獲得しました。第2試合は3位を争うashurと中富良野が対戦。前半はashurが押し込むものの決定的なチャンスはなく、逆にカウンターから斉藤の飛び出しで中富良野がチャンスを得ます。スコアレスドローかと思われた55分、ショートコーナーからashur江添がミドルシュート。これが見事に決まりashurが3位でリーグ戦を終了。4位の中富良野とともにD1参入戦への切符を手に入れました。



ピッチコンディション不良のため急遽啓北中学校から会場変更された広陵中学校。第1試合はグループAの天王山啓北と附属が対戦しました。附属は勝ち点3を得なければ準決勝進出が断念されるこの試合。序盤から啓北ペースで進みます。山内、保田が中盤を支配し、両サイドから池田、酒井が崩しにかかります。附属はカウンターから大塚、坂本のドリブルで啓北ゴールに迫ります。しかし、10分過ぎにGKと1対1になった場面をGK永井が好セーブを見せ、啓北に流れは傾きます。しかし、附属も楠を中心に失点を与えません。後半山内のスルーパスから再三チャンスをつくった啓北は、52分ついに先制点を奪います。山内からボールを受けた笠原が左サイドからGKの頭上を越える25mのミドルシュート。ボールはゴールネットに吸い込まれ均衡を破ります。終始高橋峻、茂木のディフェンスラインも安定した守りを見せ、啓北が無失点の9連勝で準決勝進出を決めました。第2試合の緑が丘と広陵も準決勝進出をかけた戦いとなりました。附属と同様勝たなければあとながない広陵ですが、中盤のボール支配では緑が丘が勝ります。永井、佐藤力が両サイドにボールを展開して、チャンスをつかぎます。しかし、広陵も押されながらもMF田中、松岡が健闘します。緑が丘は2トップ、宮下、荒川翔にボールが収まりますが、広陵CB大野、深川もしつこくマークしシュートに至らせません。一方広陵は小野を中心にカウンターからしかけますが、緑が丘のCB中島と千葉が判断の良い読みで対抗。試合は両チーム決定的な場面が少ないまま終了間際を迎えます。57分広陵は左サイドで得たFKをゴール前に入れたと緑が丘がクリアミス。ボールはゴール方向に向かいますが無情にも右ポストをたたき万事休す。スコアレスドローに終わり緑が丘が準決勝へと駒を進めました。第3試合では東光と北星が対戦。東光は勝てばD1参入戦の権利を得られます。北星も他力本願ながら勝てば進出する可能性十分の試合でした。試合は序盤から意外な形で動き出しました。2分高橋、3分田中、5分石川と5分間で東光が3点のリードを奪います。しかし、この3点で東光に油断が生まれたのが、中盤にスペースを与え、北星がリズムをつかみます。北星は18分エースの本田がミドルシュートを決めると、22分には右CKをまたしても本田がヘッドで決めて

1点差につめよります。後半も同点に追いつこうと北星が本田を中心に攻勢に出ます。しかし、何とか東光が逃げ切りグループAで4位の座を確保しました。神楽中学校の第1試合はD1参入戦への生き残りをかけた試合となりました。神楽は開始3分に石川が先制点をあげると、8分には谷口が追加点をあげます。その後も攻撃の手を緩めない神楽は21分首藤、25分谷口と着実に加点します。後半にも得点を重ねた神楽は、石川、谷口のハットトリックもあり、予想外の大量11点を奪いました。この結果得失点差で神楽がグループCの3位の座を獲得しました。第2試合はグループBで1位を走る六合が登場。勝てば1位で準決勝進出を獲得する六合は、開始早々からボールポゼッションで上回ります。12分野村がドリブルシュートで先制点をあげると、19分柳原のシュートのこぼれ球を杉森がつめて2点目。さらに23分新村、29分柳原と加点した六合は5対1で留萌を破り、7勝1分でグループBを1位通過しました。また、愛宕は2位に甘んじたものの、勝ち点率で広陵、附属を上回りWild Cardで準決勝に進出しました。

永山中学校

C 永山2-0(2-0)明星 佐藤、志摩(永)

B ashur 1-0(0-0)中富良野 江添(a)

C 春光台 4-2(2-1)上富良野 米山、小野、矢吹(春)畑中、芝田(上)

広陵中学校

A 啓北 1-0(0-0)附属 笠原(啓) [警]茂木(啓)

C 広陵 0-0(0-0)緑が丘

A 東光 3-2(3-2)北星 高橋、田中、石川(東)本田(北)

A 北都 3-2(1-1)美瑛 長堀、高井、若狭(北)後路、槌城(美)

神楽中学校

C 神楽 10-0(4-0)忠和 石川、谷口、首藤、綿谷、田畑、上野、小沢(神)

B 六合 5-1(4-0)留萌 野村、杉森、新村、柳原(六)中土井(留)

A 永山南 5-2(2-1)北門 山本、片山、松元、藤原(永)佐藤、高橋佑(北)

B 富良野西 3-1(0-0)増毛 西原(富)林(増)

グループリーグ最終結果

	A	啓北	附属	北門	東光	永山南	東神楽	北都	北星	美瑛	東陽	勝点	得点	失点	得失差
1	啓北		1-0	2-0	4-0	5-0	5-0	9-0	2-0	11-0	11-0	27	50	0	50
2	附属	0-1		2-2	4-0	5-1	3-0	8-0	1-0	3-0	7-0	22	33	4	29
3	北門	0-2	2-2		3-1	2-5	1-0	0-1	6-1	9-0	7-0	16	30	12	18
4	東光	0-4	0-4	1-3		0-0	3-1	6-0	3-2	10-1	5-1	16	28	16	12
5	永山南	0-5	1-5	5-2	0-0		1-2	3-1	1-1	2-0	5-0	14	18	16	2
6	東神楽	0-5	0-3	0-1	1-3	2-1		1-2	2-0	7-1	4-0	12	17	16	1
7	北都	0-9	0-8	1-0	0-6	1-3	2-1		0-4	3-2	3-0	12	10	33	-23
8	北星	0-2	0-1	1-6	2-3	1-1	0-2	4-0		7-1	6-0	10	21	16	5
9	美瑛	0-11	0-3	0-9	1-10	0-2	1-7	2-3	1-7		2-0	3	7	52	-45
10	東陽	0-11	0-7	0-7	1-5	0-5	0-4	0-3	0-6	0-2		0	1	50	-49
	B	六合	愛宕	ashur	中富良野	東明	富良西	留萌	神居	増毛		勝点	得点	失点	得失差
1	六合		1-1	6-0	6-0	6-0	3-0	5-1	6-0	15-0		22	48	2	46
2	愛宕	1-1		3-1	5-0	3-0	8-2	6-0	3-0	9-1		22	38	5	33
3	ashur	0-6	1-3		1-0	2-0	7-3	0-1	2-1	6-1		15	19	15	4
4	中富良野	0-6	0-5	0-1		3-2	2-1	2-2	3-0	5-1		13	15	18	-3
5	東明	0-6	0-3	0-2	2-3		2-1	3-0	1-0	7-1		12	15	16	-1
6	富良野西	0-3	2-8	3-7	1-2	1-2		2-0	3-1	3-1		9	15	24	-9
7	留萌	1-5	0-6	1-0	2-2	0-3	0-2		3-3	3-0		8	10	21	-11
8	神居	0-6	0-3	1-2	0-3	0-1	1-3	3-3		5-3		4	10	24	-14
9	増毛	0-15	1-9	1-6	1-5	1-7	1-3	0-3	3-5			0	8	53	-45
	C	緑が丘	広陵	神楽	永山	忠和	明星	春光台	上富良	富良東		勝点	得点	失点	得失差
1	緑が丘		0-0	3-0	3-0	3-1	4-0	7-0	5-0	15-0		22	40	1	39
2	広陵	0-0		1-0	3-2	2-0	0-0	3-0	2-0	5-0		20	16	2	14
3	神楽	0-3	0-1		1-1	11-0	1-0	1-0	4-0	14-0		16	32	5	27
4	永山	0-3	2-3	1-1		2-0	2-0	2-0	4-0	9-0		16	22	7	15
5	忠和	1-3	0-2	0-11	0-2		2-1	3-0	7-0	7-0		12	20	19	1
6	明星	0-4	0-0	0-1	0-2	1-2		2-0	3-2	3-0		10	9	11	-2
7	春光台	0-7	0-3	0-1	0-2	0-3	0-2		4-2	4-1		6	8	21	-13
8	上富良野	0-5	0-2	0-4	0-4	0-7	2-3	2-4		4-0		3	8	29	-21
9	富良野東	0-15	0-5	0-14	0-9	0-7	0-3	1-4	0-4			0	1	61	-60

10月20日(土) 花咲球技場 MC南向(春光台)

準決勝

9:30 緑が丘(C1位)vs愛宕(Wild)R西川(永南)A1大西(附属)A2柴田(北星)4th後藤(明星)

11:00 啓北(A1位)vs六合(B1位)R對馬(東神楽)A1三浦(神居)A2添田(広陵)4th森(神居)

D1参入戦

12:30 神楽(C3位)vs東光(A4位)R飛世(東明)A1森(忠和)A2高橋(明星)4th宮越(永山南)

10月21日(日) 花咲球技場 MC目黒(神楽)

決勝

10:00 R西川(永山南) A1宮川(東光) A2角地(附属) 4th目黒(神楽)

D1参入戦

11:30 ashur(B3位)vs永山(C4位)R南向(春光台)A1,A2準決勝敗者 4th佐藤(永山南)

12:45 北門(A3位)vs中富良野(B4位)R對馬(東神楽)A1,A2準決勝勝者 4th伊藤(東陽)